

2024年4月26日

各位

会社名 日本高周波鋼業株式会社
代表者 代表取締役社長 小椋 大輔
(コード番号 5476 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 総務企画本部管理部長
小谷 清久
(Tel 03-5687-6025)

2024－2026 年度中期経営計画策定のお知らせ

当社グループは、近年の経済・社会の大きな変化を踏まえ、

- ① ポートフォリオの変革
- ② 事業基盤の強化
- ③ SDGs 経営

の3つを基本方針とする「2024－2026 年度中期経営計画」を策定いたしました。

この計画を通じて中期的な企業価値向上を実現しつつ、ステークホルダーの皆さまに一層貢献してまいります。

計画の内容につきましては別紙資料をご参照ください。

(別紙資料「日本高周波鋼業グループ 2024－2026 年度中期経営計画」)

以上

日本高周波鋼業グループ

2024年度-2026年度 中期経営計画



1. 中期経営計画（2021年度-2023年度）の振り返り
2. 事業環境認識と対処すべき課題について
3. 2024年度-2026年度中期経営計画の概要
 - ・基本方針
 - ・ポートフォリオ変革（特殊鋼部門、鋳鉄部門）
 - ・事業基盤の強化
 - ・SDGs経営
4. 主要経営指標

- ・新型コロナウイルス発生直後からの緩やかな経済回復の中で売上高の維持と品種構成の高度化による営業利益の改善を目指してきた。
- ・2021、2022年度は計画を達成したが、2023年度に入り資源高や人材不足等による設備投資の低迷や中国経済の回復遅れの影響を受けて、主要市場での在庫調整が生じ、大幅な受注減によって売上高、営業利益ともに大幅に悪化した。

主な経営指標の推移 （年度、億円）

	目標			実績		
	2021	2022	2023	2021	2022	2023
売上高	390	380	384	417	446	366
営業利益	5	5	10	5	8	▲16
営業利益率	1.2%	1.4%	2.7%	1.3%	1.8%	-
設備投資	12	18	17	5	8	9
株主還元	安定配当の達成（数値設定なし）			—	—	11.1%

事業環境認識

- ・少子高齢化に伴う国内需要の減少、新興国の品質向上等でコモディティ化された商品の海外市場での競争が益々激化する。
- ・地球温暖化対策が加速し、産業構造が大きく変化（EV化等）しており、新規ビジネスの創出が期待される。
- ・コロナ収束後の社会や個人の意識は変化して従来の常識は通用しなくなり、事業を継続していくために様々な課題に対応する必要がある。社会ルール遵守は当然のこと、社会課題の解決やステークホルダーへの貢献を形にしていく必要がある。

対処すべき課題

- ①稼ぐ力の強化
 - ・主力ビジネス（工具鋼、軸受鋼）の市場成熟、成長分野（特殊合金・特殊ステンレス）への進出
- ②競争激化への対応
 - ・QCDD（品質・コスト・納期・開発）の更なる強化、競合他社に対する優位性の確保
- ③持続的な事業運営
 - ・社会課題の解決（カーボンニュートラル、人材不足等）、コンプライアンス徹底、安全安心職場



経営理念

魅力ある製品の提供を通じ、
環境と人間が融和した社会づくりに
貢献します

2024年度-2026年度 中期経営計画の概要

<課題>

稼ぐ力の強化



<中期経営計画の基本方針>

①ポートフォリオ変革

- ・成熟市場（工具鋼、軸受鋼）の堅守
- ・成長分野（特殊合金・特殊ステンレス）の攻勢

競争激化への対応



②事業基盤の強化

- ・小ロット、多品種の対応力を生かしたものづくり
- ・高品質、短納期への対応力強化

持続的な事業運営



③SDGs経営

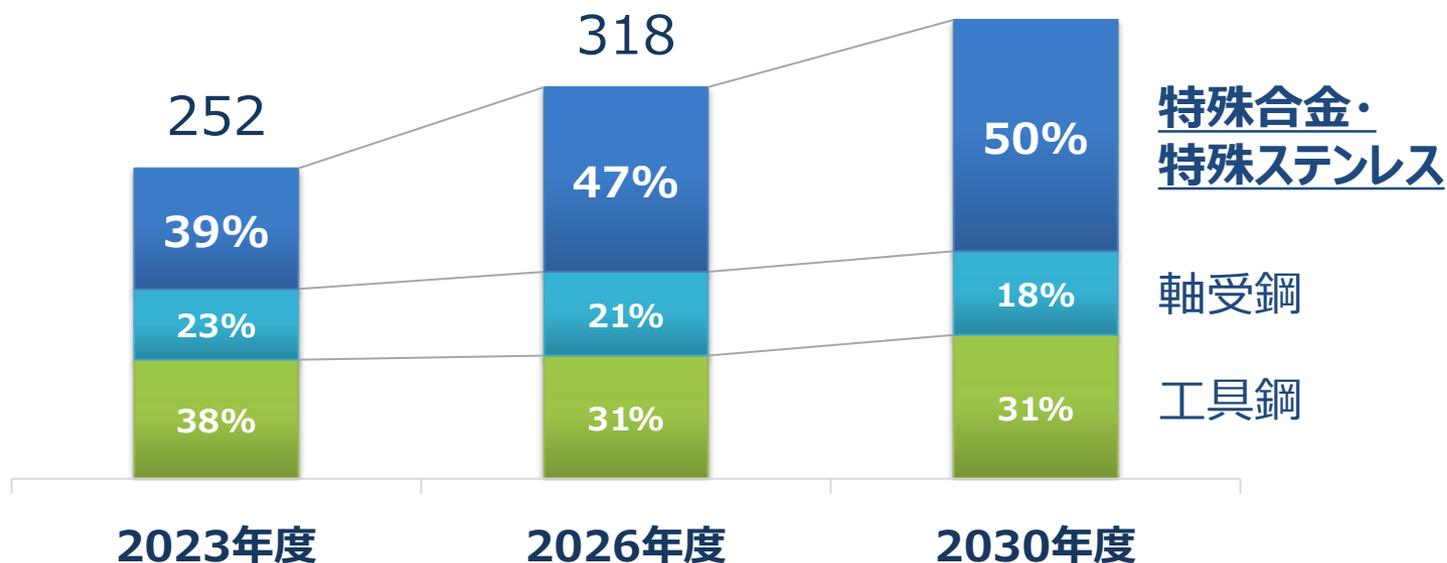
- ・安全、コンプライアンスの徹底
- ・カーボンニュートラルに向けた取り組み
- ・人材確保（採用強化、デジタル化）

①ポートフォリオ変革（特殊鋼部門）

特殊合金・特殊ステンレスを伸ばし、稼ぐ力を強化する！

- ◇小ロット、多品種の対応力を生かし、ニッチな高付加価値分野の拡販推進
- ◇市場成長が期待される『情報、医療、エネルギー』分野がターゲット
- ◇特殊溶解や検査機器、品質・コスト競争力強化のための設備投資を拡大
- ◇新商品開発および難加工材の製造技術開発を推進

特殊鋼売上高の変化イメージ（億円）



①ポータルフォリオ変革 特殊合金・特殊ステンレスの代表アイテム

鋼線
線材
棒鋼



【特殊合金】

Fe基
Ni基
Fe-Ni
Fe-Ni-Co
純Ni

【特殊ステンレス】

フェライト系
マルテンサイト系
析出硬化系
二相系

【特殊合金・特殊ステンレスに求められる特性】
高潔度、耐食性、高強度、靱性、低熱膨張

情報・デジタル産業
半導体分野



エネルギー・インフラ・FA



医療用途



他新分野

(材料開発 / 成分設計 / 共同開発)

①ポートフォリオ変革（鑄鉄部門）

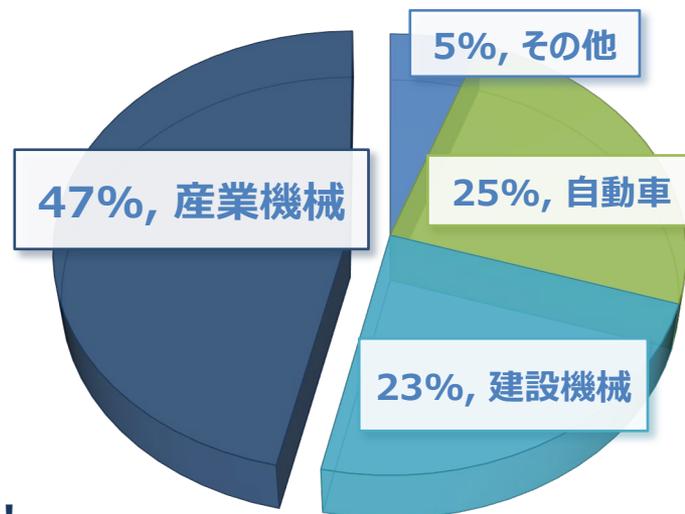
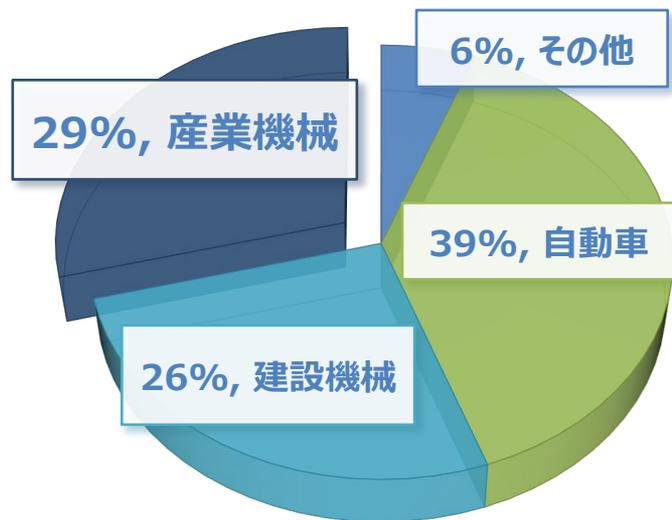
産業用ロボット部品等、成長分野に注力して稼ぐ力を強化する！

- ◇高難度で付加価値の高い製品がターゲット（産業機械、建設機械部品等）
- ◇技術力、提案力、ソリューション力を高めてお客様とのパートナーシップを構築
- ◇生産性向上により安定した生産能力を確保
- ◇製造ライン自動化を主体とした設備投資の増強、新分野市場の開拓を推進

鑄鉄売上分野の変化イメージ

売上高：89億円

売上高：113億円



産業機械比率増！

2023年度

2026年度

②事業基盤の強化

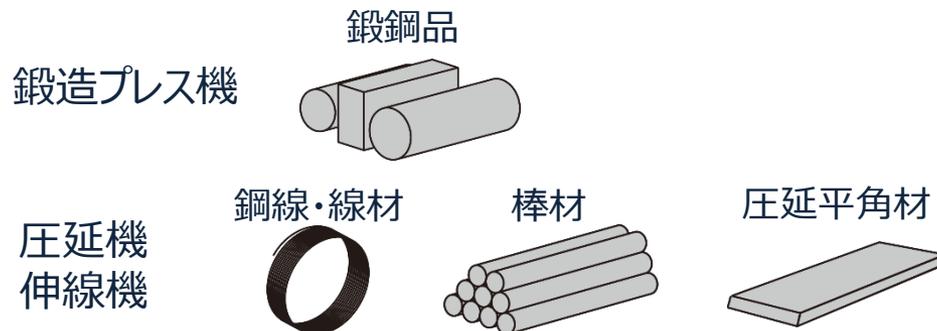
■生産体制

◎多彩でコンパクトな溶解設備
⇒小ロットのご注文にも対応

- 電気炉 (40t、10t)
- 誘導炉 (3t)
- 真空誘導炉 (2t・0.3t)

(参考：他社電気炉…15～150t)

◎バラエティに富む加工設備
⇒様々な形状・寸法への加工が可能！



今中期で設備投資を推進し、QCDD(品質・コスト・納期・開発)を強化！

- | | |
|--------------------------|--------|
| ◇戦略投資
(能力増強、品質向上、省力等) | : 15億円 |
| ◇システム投資 | : 10億円 |
| ◇安全、環境対策 | : 15億円 |
| ◇更新等 | : 20億円 |

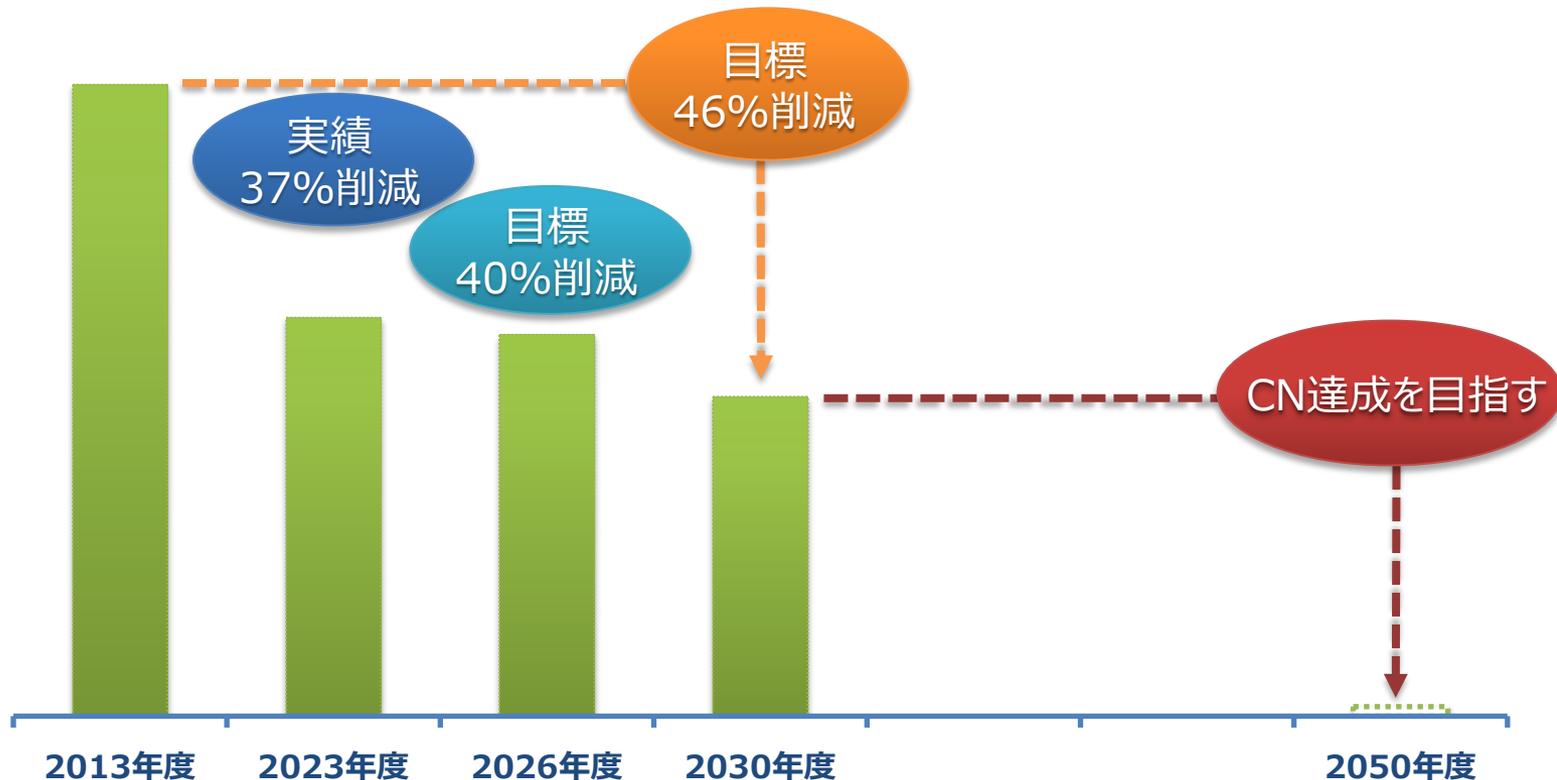
3ヶ年累計
60億円

カーボンニュートラルへ向けた取り組み



- 目標** : CO2排出量を2030年度に2013年度比で46%削減する。
- 取り組み** : エネルギー消費量の減少と燃料転換によるコスト削減とCO2排出量削減を推進する。また、非化石電源の購入も交え、2050年にはカーボンニュートラル（CN）を達成する。

2013年度対比 CO2排出目標



③SDGs経営

安全・衛生の取組み



安全・衛生・健康は経営の基盤であり、すべての事業活動に優先します。関係法令の遵守は当然のこと、様々な安全衛生活動を行っていきます。

品質管理



特殊鋼・鋳鉄メーカーとしてお客様の事業をしっかり支え、信頼されるパートナー企業としてIoTも活用し、納期満足度の向上と、品質管理を更に厳格化し保証体制を強化します。

リスク管理体制強化



経済や社会環境の変化を的確にとらえ、変化をチャンスに変え、持続的な成長を遂げていきます。そのため毎年中期計画をローリングし、その達成を図ります。また、法律や制度の変化に遅れることが無い様、コンプライアンスの維持強化に努めます。

人材確保と育成の推進



すべての従業員がお互いに尊重し合い、明るく活力溢れる職場を作ります。また、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる環境を整備し、デジタル化による業務効率、生産性向上も推進します。

コーポレートガバナンス



上場企業としてコーポレートガバナンスコードの基本原則を踏まえて企業価値向上を目指します。

- 【基本原則】
1. 株主の利益・平等性の確保
 2. すべてのステークホルダーとの適切な協働
 3. 適切な情報開示と透明性の確保
 4. 取締役会の責務
 5. 株主との対話

地域社会への貢献



事業を通じて地域の経済や雇用に貢献するとともに、地域社会の一員として地域の活性化に取り組んでいきます。主要な製造拠点は富山県射水市と青森県八戸市です。



八戸市 縄文なべ祭り
自社製鋳鉄鍋（直径3m）寄贈



射水市新湊 曳山祭 協賛



地域清掃活動

4. 主要経営指標

主な経営指標の推移 (億円)

(連結)	2021-2023年度		2026年度目標	
売上高	年平均	410		450
営業利益	年平均	▲1		30
営業利益率	ベスト年	1.8%		7%
ROIC	ベスト年	2.3%		3%
設備投資	3年累計	22	3年累計	60
株主還元	23年度	11.1%		30% (目安)

(注意)

本資料の中には、当社の将来への予測に関する内容が含まれています。
これらは、当社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容と実質的に異なってしまいう可能性があります。
当社は将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。